

生きがいのあるまちづくりのための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査



予算審査特別委員会全体会の様子

新二本松市総合計画最終年度となる令和2年度の予算を予算審査特別委員会で審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質問と委員間での討議が行われました。審査の一部を紹介します。

問

安達地方特別支援学校敷地としての旧建設技術学院の解体について、具体的にはどのような内容を実施するのか。また、いつごろまでに完了するのか

財産管理

答 実施設計業務と解体工事を合わせて約2億4,100万円の予算となっているものであり、解体する建物は、体育館、校舎、宿舍、教員住宅等の建物を解体するもので、取り壊し予定の面積は、2,760.9㎡である。また、年度早々に実施設計業務委託の発注を行い、目標としては令和2年度中に事業を完了することで予定している。

問

雇用による就業が著しく困難な生活困窮者に対しての指導・訓練を行う就労準備支援事業費の800万円はどのように使われるのか

就労準備支援

答 就労につながる準備支援プログラムを対象者ごとに作成し、それに基づき基本的な生活習慣を整える生活自立に関する支援、就労段階として必要な社会能力を身につけるための社会自立に関する支援、一般就労に向けた具体的な指導・訓練としての就労自立に関する支援に要する費用などであり、そのほとんどが人件費である。

問

令和3年度と令和4年度において施設整備工事の計画を進めるに当たり、3年間の継続費を計上することは、予算措置上問題ないのか。また、約10億円を超える予算の財源は

芝生広場整備

答 全体事業費について、令和2年度から令和4年度まで約10億円と見込んでおり、継続費の予算措置については、問題ないと考えている。また、この事業の財源については過疎債を活用して進めていきたいと考えている。

予算規模

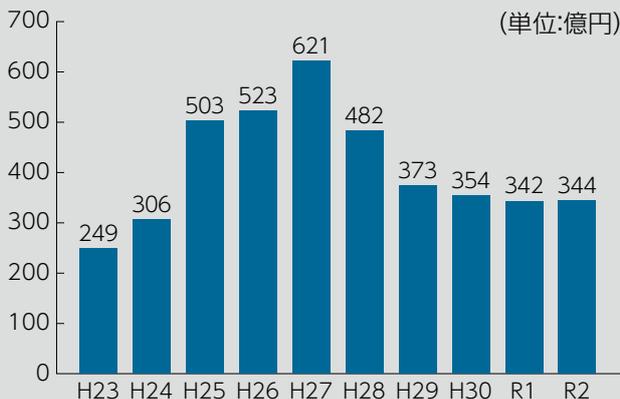
(単位:千円)

会計区分	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較
一般会計	34,443,597	34,204,451	239,146 (0.70%)
特別会計	12,215,590	13,122,425	▲906,835 (▲6.91%)
企業会計	4,962,497	3,235,956	1,726,541 (53.4%)

※令和元年度まで特別会計であった岩代簡易水道事業、東和簡易水道事業、安達下水道事業、岩代下水道事業は、令和2年度より企業会計に移行します。

一般会計の当初予算額の推移

(単位:億円)





芝生広場として整備予定の杉内多目的広場



安達地方特別支援学校として整備予定の旧建設技術学院跡地

問

検討会の委員の構成メンバーと今後の見通しは

学校適正規模等調査

答 検討会の委員は、学識経験者として福島大学の先生4名、保護者代表としてそれぞれのPTA会長6名、学校関係者として学校長幼稚園長6名、地域関係者としてそれぞれの地域の区長会の副会長4名、合わせて20名で構成している。今年度中にアンケート調査項目の検討を予定しており、令和2年度は、調査結果の集計、内容を考察しながら、市民の意見、意向を示して、再度意見をもらう予定である。適正規模の考え方をまとめた後に、審議会に移行し、学校の姿はどうあるべきか、というところについて検討いただきたい。

意見 地域住民の合意がなければ進められないので、十分な調査とアンケートに基づいて市民の声を反映して進めてほしい。また、将来の学校規模、位置を決める重要な取り組みであり、十分に議論を尽くしてほしい。

高齢者等生活支援

答 高齢者と障がい者の方を合わせて1000名程度を見込んでいます。なお、1月から開始して現在のところ高齢者3名と障がい者1名の計4名が対象となっている。周知については、基本的に要介護、要支援、障がい者の方であるので、それらの方の生活状況、家族状況等を把握している居宅介護支援事業所のケアマネジャーを通じて周知している。加えて地域包括支援センターも通じて周知するが、潜在的な方もいると思われるので、広報紙等でも周知していく。

意見 もう少し条件を緩和して、必要な人が制度を利用できるように見直しをしてほしい。また、制度の理解が十分でないこともあると思うので、周知徹底を図るべきである。

問

高齢者等のごみ出し支援戸別収集業務について、何人を見込んでいますか。また、周知をどのように考えているか

畑作生産振興

答 生産者がきゅうりを持ち込めば、選別から箱詰めまでを自動で行う仕組みとなっている。使用料は発生することになるが、大幅に労力と作業時間を短縮することができ、その労力を作付面積の拡大や栽培のほうに回ることができる。

意見 きゅうり選別機導入に対する補助の財源は全額県補助金であるが、園芸施設整備事業補助は園芸振興の目玉となる事業であり、もっと市単独事業のメニューを増やし推進していくべきである。

問

園芸施設整備事業補助により導入するJAのきゅうり選別機は、農家の方がどのような形で利用するのか

令和2年度一般会計 当初予算 344億4,360万円

